

日 時 令和7年1月16日（木）18時30分 ～19時30分

場 所 柏木町コミュニティセンター

対象地区 柏木町

参加人数 21名

■要望、質疑応答

内 容
○マイナンバーカードについて （市民から） 自分はまだマイナンバーカードを作っていないが、マイナンバーカードを作らなければ最終的にどうなるのか。 （市から） ・明確にお答えできないため、後日確認してから回答する。
○除排雪について （市民から） 薬王堂から小学校に抜ける道路に、毎年雪が積まれている。除雪機や軽トラの所有者で協力できる人を集落ごとにアンケートで募るなど、体制を作って除雪するというのはどうか。 （市から） ・交通量の多い道路を優先して排雪しており、現在薬王堂からの通りは排雪できていない状況である。柏木町地区の融雪溝がある道路については、地域の方の協力を得ながら少しでも道路を広げるような対応をしていただきたい。 ・地元業者や機械を所有している人の協力については、地域コミュニティ育成事業奨励金という補助金があり、除排雪に使ったガソリン代なども補助対象経費となるため、有効に活用していただきたい。
○防災無線について （市民から） 防災無線が聞き取りづらい。窓を開けてテレビを消しても聞こえない。何とかできないか。また、AIを使って聞こえやすい周波数のものにする、女性の声にするなど何か対策できないか。 （市から） ・防災無線については向きによって聞こえないという声は各町会から上がっている。設

置から 10 年ほど経過して交換の時期になっていることもあると思う。現在の防災無線の通常音声は人工音声であると思う。多くの人に聞こえて理解してもらえるにはどうしたらよいかを考えながら、総務課と協議をして対応を検討したい。

○商工会跡地について

(市民から)

解体された商工会の跡地の利用について、何か計画があれば教えてほしい。

(市から)

- ・商工会跡地をどのように活用するかは現在検討中である。現在市では食と農業と観光の一体とした事業を検討中であり、その中に組み込むか、もしくは独自に市活性化のために活用するかなど今後も考えていく。

○ねふた展示館の案内板について

(市民から)

ねふた展示館の案内板について、平賀駅周辺などに無いのは残念だと思う。

(市から)

- ・ねふた展示館はただ見せるだけではなく、平川市の物産販売など様々な施設とともに観光振興の一環として活用したいという思いがある。今後、展示館のあり方を検討しながら案内板についても考えていく。

○雪の活用について

(市民から)

大雪が続いており、雪の行き場がない。子供たちの坂を作る、雪室りんごを作って消費者に分けるなど雪を資源として活用してはどうか。

(市から)

- ・雪を活用する方法は色々実践したことがあり、雪室にもチャレンジしたことはあるが、なかなか継続実施まで至っていないのが現状である。
- ・雪と親しむイベントについては、今年も文化センターで開催される予定である。雪室りんごについては、柏木農業高校と研究したことはあるが、活用までは進んでいない状況である。

○豪雨による浸水について

(市民から)

工藤歯科とマルチ薬局の間の道路について、豪雨になると 30 センチ弱ほど水が溢れる。3 年前の話では、新庁舎になれば貯水できる機能が備わるため、当該道路の水を流せ

るのではということだったが、現在の状況は変わっていない。新庁舎はどこの水を貯水しているのか。

(市から)

- ・市役所では本庁舎裏に流れた水を貯水しているため、工藤歯科とマルチ薬局の間の道路の雨水については貯水していない。浸水の原因は、オダギリ商会から田本商店までの大きい水路（前田堰）が一杯になってしまうことが原因と思われる。現在、下流の方から順次拡張工事を実地中であるため、状況が変わるまでもう少し待っていただければと思う。

○ふらっと広場について

(市民から)

ふらっと広場について、月に一回朝市を開催するなどもう少し活用してほしい。

(市から)

- ・現在、ふらっと広場を民間事業者や各種団体の皆さまに無料で貸し出しして調査中である。ふらっと広場の活用については今後方向性を決めていく。

○豪雨による浸水について

(市民から)

柏木町の公民館から新館に行く道路について少し低くなっているところがあり、豪雨の時に道路に水が溢れてくる。原因と今後改善される見込みを教えてください。

(市から)

- ・沖館方面から大浪バイパスを渡ると道路の脇に大きい水路があり、そこに水が入っている。その下流が、トライアルの大きい水路の1本下にある小さい水路の方に流れ、水が溢れている状況である。上流側の水路が広く、溢れている部分が狭くなっており、当該部分が低いことから、水が溜まりやすい状況となっている。さらに、その水路が合流する前田堰が既に満水であり、多くの水路からの水を処理し切れていない。よって、前田堰の水位を下げる工事を実施中である。工事が終わればある程度軽減されると思われる。

○除雪の際に使用する命綱の貸し出しについて

(市民から)

命綱の貸出について、広報に問合せ先は総務課危機管理係とあったので電話したが消防署に問い合わせしてほしいと言われ、二度手間になった。また、命綱の仕様が悪かったため、改善してほしい。ボルダリングで使うような命綱を想像していたが、腰に巻くだけのベルトで、握力が無い高齢者には絞めにくい。あまりに太くて重く、脱着しにくい。消防

署にて、命綱は市役所から貸与されたものと聞いたが、一度使い勝手を確認してからの方が良かったのではないかと思った。

(市から)

- ・広報 12 月号では、文章中に貸出場所は平川消防署と碓ヶ関分署と記載されていたが問合せ先は総務課とあり、わかりにくい表記となっており申し訳なかった。総務課とも情報共有し、今後注意したい。
- ・命綱の太さや安全ベルトの機能などは今後こういった対応ができるかについて、総務課に情報共有し、確認したい。

○新庁舎スロープ側の入口の排雪について

(市民から)

新庁舎スロープ側の入口について、左右の見通しが悪いため、排雪をしてももう少し広角に侵入できるようにしてほしい。弁当屋があるため車が停車している場合もあり、危険である。

(市から)

- ・現地確認後、左右を見通せるように対応したい。

○高齢者宅の除雪について

(市民から)

地域に一人暮らしの高齢女性がおり、屋根雪などの除雪に困っているが、身内が遠方にいる状況である。この場合はどうしたらよいか。

(市から)

- ・当市も災害救助法が適用となり、一人暮らしなどで労力が無い方については、市役所にご一報いただければ、業者を向かわせて対応している。条件があるため、市役所総務課に問合せしてみてほしい。